

【学校教育目標】

人権尊重を基盤とし、

創造性豊かで積極的に行動する子どもの育成

めざす子ども像

思いやりのある子・自ら考え行動する子・粘り強くたくましい子

めざす学校像

互いに認め合い高め合う学校

みんなが安心できる居心地のいい学校

開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）

令和2年度（2020年度）重点課題

学習指導要領全面実施をうけて、新しい時代に必要となる資質・能力（下記①②③）の獲得をめざす。

- ① 何を理解しているか、何ができるのか。（生きて働く知識・技能）
- ② 理解していること・できることをどう使うか。（思考力・判断力・表現力等）
- ③ どのように社会とかかわりよりよい人生を送るか。（学びに向かう力・人間性等）

- ➡ カリキュラムマネジメントの充実と教師自身がわくわくするような授業づくり
- ➡ 子どもたちが安心して失敗できる環境づくり（こどももおとなも安心安全）
- ➡ 社会に開かれた学校づくり（保護者・地域とのつながりを大切に）

㊦ のびのび 野畑 合言葉

㊧ バリアフリーで 笑顔がいっぱい

㊨ 体験 楽しい 学びたい

㊩ 計画立てて 相談 確認

1. 本年度の学校経営の重点

互いに認め合い、高め合う学校

- ① 教職員がともに学びあい、児童の主体的な学びを育てる授業づくりをする。
- ② 野畑小学校の子どもを学校全体で育てられる学校教育体制を整えるための研究を行う。
- ③ 教職員の人間力・指導力・授業力をスキルアップするための研修を行う。
- ④ カリキュラムマネジメントを充実させ、より効果的な学習活動を展開する。
- ⑤ 子どもたちが体験を通して学びたいと思う授業づくりを行う。
- ⑥ 子どもたちの知的好奇心にこたえる学習環境（ICT・図書館等）をより充実させる。
- ⑦ 全学年で、教科担任制・授業交換を行う。
- ⑧ 多様性を認め合い、課題を抱える子どもたち一人ひとりが学び方を選択できる環境づくりをする。

みんな（児童・保護者・教職員）が安心できる居心地のいい学校

- ① いじめを見逃さない学校体制をつくる。
 - ・ 児童の小さな変化に気づく高いアンテナを持ち、組織的に児童の指導を行う。
 - ・ 特別支援コーディネーターや児童生徒支援加配を中心に、教育相談員派遣やSSW・14中校区SCを積極的に活用し、関係機関や専門家との連携を図る。
- ② 気持ちの良い教育環境をつくる。
 - ・ 総務部を設置し予算の計画的な執行を行う。
 - ・ 教職員全員が高い危機意識を持ち、児童の安心安全の確保に努める。

開かれた学校 学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校

- ① 参観日でなくても都合のつく時間に学校に来てもらっていいのだと情報発信する。
- ② 計画的な学校運営と丁寧で迅速な情報発信をする。
- ③ 「野畑はぐくみ隊」の活動を充実させ、学校・家庭・地域が子どもを中心につながりあう関係を築く。

2. 学習指導及び生活指導の重点

- ① 命の大切さを基本にして、障害のある子、学習につまずきのある子、学校(学級)になじめない子、生活指導上配慮を要する子を大切にする指導につとめる。
- ② 生涯を見据えた学び方の基礎を培うため、体験的・問題解決的な学習指導法を取り入れ、個性をいかし、主体性を学ぶ授業を追求する。
- ③ 学ぶ意欲を高めるための評価のありかたを検討するとともに学力向上の取り組みを充実させる。
- ④ 学校図書館・コンピュータ・視聴覚機器・デジタル教材等の活用を積極的に行う。
- ⑤ 「からだづくり推進事業」指定校2年目の取り組みを充実させる。
- ⑥ 外国語教育・プログラミング教育を推進する。
- ⑦ 生活指導の充実（全職員が同じ姿勢で継続して取り組む）
 - ・ 自分の思いを伝え、互いを大切にする子どもを育てる。
 - ・ 児童会が主体となってルールについて話し合い、守ろうとする姿勢を育てる。
 - ・ トラブルを起こさないのではなく、トラブルを学びにかえる取り組みを追求する。
 - ・ 清掃指導を大切にし、子どもたちとともに学校をきれいにする取り組みをする。
 - ・ 大人から丁寧な言葉遣いや元気な挨拶の実践をする。